

強い農業づくり総合支援事業の取組事例 (令和2年度:事業実施主体:有限会社 氏家農場) (宮城県)

取組の概要

- 対象品目：野菜（ねぎ類）
- 成果目標1：農畜産物の供給量を48.5%増加
 基準（R1年度）：260.6t
 目標（R4年度）：387.1t
- 成果目標2：全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を25ポイント増加
 基準（R1年度）：49.4%
 目標（R4年度）：74.4%
- 導入施設：農産物処理加工施設（ねぎ加工施設）



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

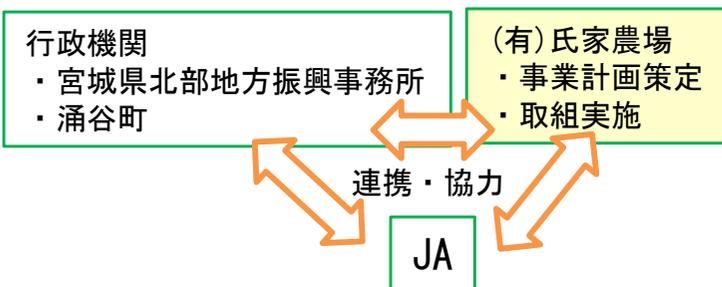
- ・カット加工用輸入ねぎの大半を占める中国産の供給がコロナ禍により減少する状況の下、国産カットねぎの需要が増大。
- ・当地域では、ねぎのカット加工に取り組むための生産体制が整っておらず、高まる需要に対応できていない。



【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- ・高まる国産カットねぎの需要に応じるための農産物処理加工施設を整備し、安定供給が可能な生産体制を確立する。
- ・業務用向け等への供給拡大の取組の一環として、HACCP対応の施設とすることにより、実需者の志向に対応する製品として付加価値を更に高め、販路開拓を積極的に推進する。

推進体制



取組成果

【事業実施による直接効果】

- ・国産カットねぎの安定供給体制が確立し、供給量が増加。
- ・増加する国産カットねぎの需要に対応し、更なる需要拡大につながる好循環

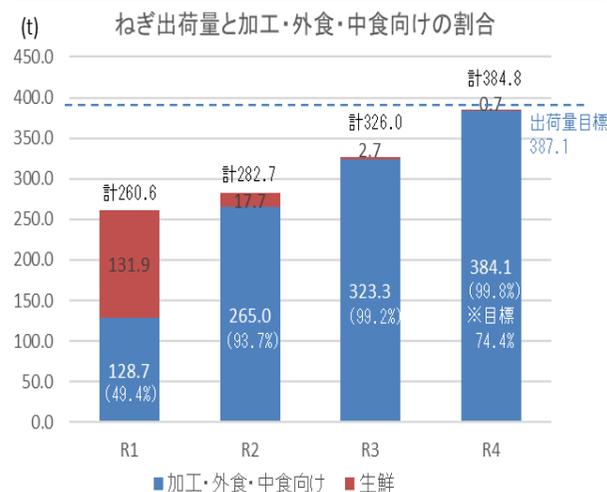
【事業実施による間接効果】

- ・飲食店への国産カットねぎの定着
- ・施設の雇用による地域貢献



**収益力の向上
経営基盤の安定**

成果目標1:達成率98.2%
成果目標2:達成率201.6%



地域における独自の取組

- ・飲食店、ラーメン店等への販促強化
- ・作業省力化のため、ほぼ全量を加工・業務向けに切り替え